

ごみを考える会通信2005/6月号

報告

5月15日 JC主催のわんぱく相撲での食器デポジット報告。

当会からは、縣さん・大石さん・加藤と、他に一般から1名のボランティアが参加しました。

縣さん、大石さん、お疲れ様でした、ありがとうございました。

なお2時撤収としましたので、全500枚の内150枚ほどを持ち帰り洗う形となりましたが、縣さんが自宅で洗浄してくれました。ありがとうございました。

5月15日 JC主催、わんぱく相撲における結果

昨年引き続き2回目のデポジット実施では、主催者である富士青年会議所が「530」（ゴミゼロ）をイベントの目玉に打ち出し、食器デポジットとゴミの11分別を実践。会場アナウンスも積極的に行うなどして、訪れた人にごみ減量についての意識啓発を行った。

約500食のちゃんこ鍋と、特製の大判焼が振舞われたが、2回目のデポジット実施とあって人々のマナーは大変良く、食器返却のコーナーでは、みな自分の手で使用した食器やはしをすぐ作業（前洗い）を行ってくれた。また、今回は食洗機を導入したため、本洗浄の人手も軽減され、時間・労力ともに最小限に抑えることができた。

なお、会場内には2ヶ所のごみ箱（11分別）が設置されたが、会場内で使い捨て容器を一切使用しなかったことから、2ヶ所とも、イベント終了時まで1度もごみ袋の入れ替えをすることなく、10種類の資源ごみ各1袋と、焼却ごみ1袋を排出したのみだった。

16日(月)生ごみコーディネーターのぼかしのについての討論会、

ひろみ授産所のぼかしを広めていこうと言うことで合意、方法も討論

参加者:宮野、あがた、星、内田、加藤、小野

場所 :小野宅

17日(火)消費連東部支部総会にて、ごみを考える会15分ほど活動報告

プロジェクターでパワーポイントを映し出して、報告。そのこと自体が、結構受けていました。

あがた、星、小野出席 場所:沼津図書館

パネル展示:沼津駅横の県民センターパレット1F ついでがあったらご覧ください。

18日(水)生ごみ自家処理講習会 伝法公民館生き生き講座

市役所の話:市川さん、当会からの話:小野、ぼかしの説明:宮野、段ボールぼかし:市川さん

生ごみぼかし希望者:8人(バケツ16個)

参加者:梅原、宮野、あがた、田中、小野 他市役所

場所:伝法公民館

19日(木)ひろみ授産所交流会

参加:富士市廃棄物対策課主幹小笠原さん、鈴木さん

富士市社会福祉協議会鶴橋さんともうお一方

ひろみ授産所石川所長はじめみなさん

当会:赤松、星、あがた、田中、宮野夫妻、竹内、内田、小野

授産所でぼかし作りの行程を見学。みんなとても一生懸命に働いていました。
その後討論会。

授産所で働いている人たちは、月給7,000円が平均、授産所全体の運営補助金が年600万円で、その中から3~4人の職員の給料も出ていると聞いて皆驚きました。そのためにも、自主製品である「ぼかし」を広めてもらいたいし、その後、公民館等に置いてもらえるよう計らってもらいたいとの授産所からの強い要望。スマート協力店の施策も動くので、そこにもおいてもらえるよう計るとの廃棄物対策課の返事でした。当会の会員から、「配達が大変ならお手伝いします」の声も挙がりました。

「共生き」の社会がこれから求められていくという話から、美しい自然も障害者も生きとし生けるものともに生きていけるよう
これからの富士市をここにいる皆とともに作っていきましょうと言う話になりました。
社協の方々にも喜んでいました。

「富士市役所職員は皆生ごみ自家処理をする。」
「まず、富士市全所帯数の1割は自家処理してもらおう働きかける」
「富士市中の各団体に講習会開催を呼びかける」
「生ごみ堆肥化施設などのリサイクル施設での就労には、授産所が参加する」
等々のアイデアが出て、市長への提言に入れましょうとのことになりました。
市長への提言にこれは入れてと言うものをご提案ください。これから検討に入っていきますから。

20日(金)フジスマートネット編集会議

参加:梅原、田中、小野

場所:環境クリーンセンター

「生ごみ一絞り」を呼びかける漫画を梅原さんが書くことに。

4面に「ミックスペーパー回収ボックス地図」を載せることに。

日本製紙の2カ所、王子板紙は広報誌に名前を載せるのを渋っているとのことですが、市で確認すると言っていました。王子板紙はどんな紙でもOKなのですが、回収ボックスでも分別やミックスペーパーだめのところも結構あるとのこと、市は7~8カ所確認済みと言っていました。

市が、ごみが3年連続で減ったことを示すグラフをどうしても載せたいとのこと。
会としては、もっとごみごみ減量を呼びかけるものへの変更を要求。考えることに。
どうもごみ減量への緊迫感、焦りが紙面から感じられないのはなぜか話し合いましたが、市職員自体が焦っていないのでは?と言う話になりました。もっと、がんばってもらいたいです。

「ごみ減量情報誌フジスマートネット」の認知度は、30%以下だそうです。
がっかりしていましたが、まだ4号しか出してないんですね。これからですということになりました。
みなさんにご存じですか? みなさんご意見を編集会議に出してくださいね。

20日(金)夜 時田さん、原田公民館ごみの勉強会講師として、当会から派遣でやっていただきました。
今度みなさんと一緒に、土曜日か日曜日に、この勉強会しませんか？

26日(木)理事会 フィランセ10時～

月当番決定:6月赤松、7月星、8月梅原、9月あがた、10月竹内、11月時田、12月宮野
1月小野、2月加藤、3月田中

理事長:小野 会計:星、加藤、宮野、 広報:赤松、梅原 事務まとめ:竹内
消費連:星、あがた、小野 男女共同参画:時田 地球温暖化防止活動推進センター:小野
食器デポジット:加藤(まとめ役) 生ごみコーディネーター:宮野、小野 畑:梅原
市長への提言:竹内まとめ役 ゴミなんでもスマートネット:梅原
その他随時担当決定

5月29日ゴミゼロサミット榛原町への参加

徳島県上勝町の町長のお話、とてもおもしろく拝聴しました。
学ぶところが多々あります。参加:星、宇佐美、四本、足立、小野
足立さん、会費いただきました。みなさまもよろしく願いいたします。

6月4日ゼロウェイスト上勝町長のビデオ报告会 フィランセ3F 午後1時から

参加者:宮野夫妻、岡村、赤松、小野

さて、本日、フィランセで上勝町長講演会のビデオを拝見いたしました。

ゼロウェイストの意味、上勝町長の問題意識、そして、解決策、実行力、を感じさせていただきました。われわれは、上勝町から何を学ぶのか。どのように富士市に落とし込むのかをこれからよく議論し具体的に実践していかなければならないと思います。

確かに2206人という人口ですからすべての人を教育しようと決意すれば、決して不可能な数字ではありません。しかし24万人の富士市でもきっとできるはずです。同じ人間なんですから。

今回の講演で上勝町長が言いたかったことは、まずは、21世紀という環境の世紀にあった目標(ビジョン)を明確にして宣言しましょう。みんなのベクトルを合わせることが大切です。そこからはじまります。ということと言いたかったと理解しました。

そして、上勝町長の哲学、「真・善・美」を知りました。

もう少し具体的な内容も知りたかったのですが、たとえば34分類の具体的な中身。集めたものをどんな業者に持っていってもらっているのかなどなど。しかし、それは現場視察に行くほうが勉強になるのかもしれない。と思いました。いつか、上勝町に行きたいですね。

6月5日 ごみを考える会の畑で、ジャガイモ掘りと支柱立て

少し早いですが、ジャガイモ掘りをしました。

7～8コ入りで、100円の超お買い得です。

今ならまだ手ですると皮がむけますよ。

畑の無人販売所で販売しておりますのでよろしくお願いします。

参加者：宮野素子さん、梅原ファミリー、多田さん、小野。

今後の予定

6月16日木曜日に、米久生ごみ堆肥化施設等々見学、参加者募集中！！別紙参照(宮野)

6月23日木曜日午前10時から、フィランセ3Fで、理事会兼例会、(赤松担当)

7月生ごみコーディネーター講習会 田子の浦地区予定(宮野・時田)

7月、おからのでない豆腐づくり体験と視察(星担当)

7月24日ふじまつり食器デポジット、かぐや姫工房とタイアップ
静岡県廃棄物リサイクル室・地球環境室協力(小野担当)

8月1日生ごみリサイクル交流会2005in 早稲田(宮野・赤松担当)

8月31日水曜日、栃木県高根沢町長講演会消費連主催、ごみを考える会担当(あがた担当)

10月25日福祉祭食器デポジット'(時田担当)